

令和7年度 授業計画書（シラバス）

分野		専門分野		開講時期	1 年後期	
授業科目名	小児看護学			単位数	1 単位	
	小児看護学概論			時間数	30 時間	
講師名	熊谷 瞳	所属	岩手県立一関高等看護学院		資格・免許	看護師免許 保健師免許
		職名	専任教員			
事前学習内容						
テキストの授業内容に関連する部分を学習しておく						
科目全体のねらい						
小児看護学の対象である子どもと家族への理解を深め、小児看護学の概念と役割を理解する						
教育目標との関連						
(3) 人間を、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルに統合された存在として理解することができる。						
(4) 対象を、どのような健康状態であっても、社会で生活している人と捉えることができる。						
(5) 看護師としての責務を自覚し、高い倫理観をもって看護を実践することができる。						
(6) 科学的根拠に基づき、健康状態や生活の場に応じた看護を実践することができる。						
(7) 社会の特性を理解し、保健・医療・福祉チームの中で、多職種と連携・協働し、対象が希望する地域で、その人らしく、より良く生きることを支援できる。						
科目目標						
小児看護の意義を理解する						
各期の子どもの成長・発達、健康、家族、看護について理解する						
子どもをもつ家族の特徴を理解する						
病気・障害を持つ子どもと家族の看護について理解する						
子どもを取り巻く環境や生活の場、災害といった状況に特徴づけられる看護について理解する						
検査・処置を受ける子どもの看護を理解する						
回	授業内容				方法	
1	小児看護の対象と目標・役割				講義	
2	子どもの成長・発達				講義	
3	新生児の成長・発達、養育と看護				講義	
4	乳児期の成長・発達、療育と看護①				講義	
5	乳児期の成長・発達、療育と看護②				講義	
6	幼児期の成長・発達、療育と看護				講義	
7	学童期の成長・発達、療育と看護				講義	
8	思春期・青年期の子どもの特徴と看護				講義	
9	子どもをもつ家族の特徴とアセスメント、病気・障害をもつ子どもと家族の看護				講義	
10	子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護①入院中・外来における子どもと家族の看護				講義	
11	子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護②在宅療養中・災害時の子どもと家族の看護				講義	
12	子どもにおける疾病の経過と看護				講義	
13	子どものアセスメント				演習	
14	症状を示す子どもの看護				講義	
15	検査・処置を受ける子どもの看護				講義	
受講上の注意					評価方法 筆記試験 100点	
使用するテキスト						
小児看護学概論 小児臨床看護総論 (医学書院)						
小児看護学 子どもと家族の示す行動への判断とケア 第8版 (日総研)						
参考文献						
写真でわかる 小児看護技術アドバンス (インターメディカ)						

* 病院での実務経験を有する教員が、その経験を活かして講義する